

## 高齢者の交通死亡事故の防止に関する決議

悲惨な交通事故の根絶は、町民すべての切実な願いである。

富山県においては、これまでの交通安全協会などの地道な取り組みにより、平成13年以降14年連続で人身事故件数、負傷者数が減少し、事故死者数についても、昨年は44人と昭和28年以降最少となった。

しかし、本年に入り、人身事故件数や負傷者数は引き続き減少傾向にあるものの、死者数については、10月29日現在で、63人と前年同月比を22人上回り、うち高齢者の死者が46人と7割を超えており、高齢死者数の増加は極めて深刻な状況となっている。

当町においても、交通事故件数は52件と前年同月比を4件上回っており、死者も2名出ている。また、朝日町を含む入善警察署管内では、全事故件数の43.8%が高齢者による事故であり、高齢者事故の割合及び増加率が高くなっている。

超高齢社会の到来というかつて経験したことのない新たな時代を迎え、高齢者の交通死亡事故防止対策は、今後益々厳しい状況になることが懸念される。

高齢者の死亡事故は、高齢者の歩行時にも運転時も発生しており、町民一人ひとりが、今一度交通安全の基本を再確認することや、高齢者に対する交通安全教室等を通じた交通ルールの普及啓発が重要である。また、高齢者を地域全体で見守る活動や高齢者にやさしい交通環境づくりが必要である。

よって、入善町議会は、高齢者の交通死亡事故を防止する実効性のある取り組みを早急かつ強力に推進し、安全で安心な入善町の実現を期すものである。

以上、決議する。

平成27年12月17日

入善町議会